



センスオブワンダー清里観察会

4月29日～30日

於 清里 キープ協会 自然学校

参加 大人20人 こども4人

天気に恵まれた清里、自然学校に集まり、まずは丸く輪になって他己紹介（紙に書かれた他の人の自己紹介カードを読みあう）を行った。お互い親しくなったところで、建物の案内と敷地内のお散歩。天気が良かったにもかかわらず、途中でぱらぱらと雨が降り出し、高原の天気の変化の速さを思い知らされた。宿舎に戻るとすぐにまたやんでしまったが、思いがけぬ大きな虹に心が弾んだ。

夕食後は夜の探検に。夕暮れの空に、山のシルエットが美しい。牧場の横を通るとき、案内の小西さんがライトを向こうのほうに向けると、ピカッと光るものがある、シカたちの群れだ！空を見上げると、もう暗くなった空に、星もいっぱい光っていた。

暗闇の中をもう少し奥まで進み、秘密の場所に連れて行ってもらった。河原に降りるとググッ、ググッと柔らかい声が聞こえる。これはタゴガエルがメスを呼ぶ声だそうだ。絶滅が心配されているカエルで、鳴くのはほんの3日くらいだとか。出会えて、良かった！

2日目はお弁当をいただいて各自思い思いの春を楽しんで昼過ぎに解散した。

お世話をしてくださった清里キープ協会の皆さん、我孫子の皆さん、ありがとうございました。

(文責 小川)



2日目午前中のフリータイム。私達のグループは「吐竜の滝」までトレッキングに出かけました。雲ひとつない青空の下、雄大な八ヶ岳を眺めながら牧草地を横切り、森の中の小径を1時間ほど歩くと、やがて沢のせせらぎが聞こえて来て空気も一気に涼しげに。眼下の川を目指して最後の崖を下って目的地の滝に到着。滝壺に近づくと岩肌から飛び散る水しぶきのシャワーが心地良く、滝の音を聞きながら食べたお弁当は疲れを癒してくれました。帰路はバスの予定でしたが、どういうわけかバス停が見つからず、仕方なく少し遠回りではあったが車道を徒歩で帰ることになり一同一気に気が重くなる。ところが帰路の途中で山から駆け下りて来る野生の鹿の群れに遭遇。次から次へとその数20頭近く！思わぬ出来事にこの時ばかりは疲れも忘れ、その場に立ち尽くしたまま、しばし驚きと感動に包まれました。想定外の距離を歩いたことで、宿舎に着いた時は体力も気力もかなり消耗していましたが、思いがけない素敵な体験に恵まれた思い出深いトレッキングとなりました。岩の傍ではヒトリシズカが美しく咲いていました。自然や野生生物たちの驚異を体験・実感し、五感（センス・オブ・ワンダー）が研ぎ澄まされた充実した2日間でした。

（文責 柳澤）

